中央公民館の利活用に向けた「サウンディング型市場調査」
結果概要

１．調査の目的

中央公民館は、令和９年度に開館する「中央生涯学習センター」への機能移転に伴い、公民館の用途を廃止して閉館することから、当該施設の新たな活用を検討しています。

今回の調査は、市場性の有無や、公募による利活用事業の成立の可否などを把握するため、民間事業者より意見・提案を募り、対話を通じて利活用の可能性を確認することを目的として実施しました。

２．調査の対象者

閉館後の建物を利活用した事業の実現可能性を聴取する観点から、サウンディング調査に参加できる事業者は、建物の活用主体となりうる法人又は複数の構成法人としました。

３．調査の経過

内　　容	日　　程
実施要領の公表	令和８年　８月　３日（月）
申込書の受付	令和８年　８月　３日（月）～　９月１８日（金）
サウンディングの実施	令和８年１０月２１日（水）
主な対話内容	１．利活用の参入の可能性とその内容 　建物の利活用について想定される事業やサービス ２．スケジュール 　譲渡日を令和１０年４月１日と仮定した場合の事業スケジュール案 ３．建物や設備への投資 　必要な改修・整備内容 ４．事業期間 　長期的な事業継続に向けた収支の見通し ５．市に求める条件等 　事業参入にあたっての条件や懸念事項等 ６．その他

４．参加事業者

１社

５．調査結果の概要

ご提案いただいた概要は、『「美術品の展示・収蔵」「若手人材の育成」「カフェ・宿泊機能」を融合した複合的文化拠点の整備』です。

なお、参加事業者の知的財産保護の観点から、アイデア及びノウハウに係る詳細な内容については公表を差し控えており、公表する内容については参加事業者から了承を得たものとなっております。